先祖彼岸大供養会

9月21日(水)午前9時半より



抑も亦油の縁なります またから 弘法大師

を くるま ない かい はる | 必ず砥の助に由る | 必ず砥の助に由る | から と なら よ 重き輅の軽く走る

法 日 輪発

電話 〇七四七一二五一四七一七

御 十一月二十一日(月)

受 戒

十月十六日(日)十時より

丹生狩場明神祭

会

皆さまのご参拝お待ちしています。 餇 轉 法 輪 寺

秋のお彼岸法会

者けてみてはいかがでしょうか。

さて、秋の法要案内を申し上げます。

九月二十一日(水)九時半より

法話「聞く心、伝える心~感謝の心~」 先祖彼岸供養法会 小牟田 日鹿児島県姶良市 昌 彦 僧 正

季節がやってきました。 「灯火親しむの候」と季語にあります 暑かった夏も終わり、過ごしやすい

ように、秋の夜長には静かに心を落ち

設局に至る

住 職 桑 Щ 慈 紹



します。彼岸とは彼の岸と書き、理 もあります。その彼岸に至るために 想の世界・悟りの世界を示す言葉で めました。暑さ寒さも彼岸までと申 立秋頃より、 空に絹雲が見えはじ

【お水(布施)のおしえ】

尊い姿であります。 熱いお茶を何度もお給仕する風習は 仏様の供養に欠かせません。お盆に れています。またお茶も水と同様 水には花が咲くと云われ、大切にさ 様に供養します。この時間帯の井戸 までの間に清浄な井戸水を汲み、仏 す。真言行者が早朝に四時から六時 仏様に供える水を閼伽水といいま

の 氷雪と形は変わりますが、その性質 を見ることができます。水こそ生命 は変わりません。その中に仏の教え 河となって大海に至ります。雲雨 をうるおし、草木を育み、やがて大 源、 水は高所より低所へ流れ、 仏様であります。 すべて

塗 香 (持戒) のおしえ】

るお香のことです。身口意を清める 塗香は仏様を礼拝する時に手に塗

口

ーソク・花・ご飯を供え、手にお

さいと申されました。そのうちのい

くつかを紹介いたします。

先徳は六度満行 (六つの船) で渡りな

を塗るのです。 もので、 いきましょう。その気持ちで手に香 のですが、たとえ少しでも実行して 言うは易くとも実行は中々難しいも 戒もまた、身口意に対する戒です。 では菩薩十善の戒が有名です。 るためです。この塗香の教えは持戒 (戒を保つこと)で、ことに真言宗 清らかな身心で供養礼拝

【飯食(禅定)のおしえ】

よう。 口です。 六度満行、それはお仏壇にお茶・線香 地に入ることができるでしょう。 仏飯)を供えて御宝号「南無大師遍照 とです。そのために、仏前に飯食(お やかにします。この姿が禅定の入り 金剛」 百返ないし千返唱えてみまし 食事は身体を健康に保ち、 心も体もさわやかに禅定の 禅定とは宗教的な瞑想のこ 心を穏

毎月21日は月並御影供 (9時半~)・28日は不動尊護摩供 (9時~)です。 どなたでもお気軽にご参拝くださいませ。入退出自由、昼食お接待です。

香を塗って拝む姿そのものであると 申せましょう。彼岸(悟り)に至る道 は自分一人でゴールインする競争で 支えあい、励ましあって至る道です。 その心がけが出来たとき、その人は もうすでにこの世において生きなが ら彼岸にいる人と申せましょう。

生かせいのお

【第五十一話

名誉住職桑 山聖規



落し入れるものもあります。言葉す言葉もあれば、悲しませ他人をなものです。相手を励まし、生か生活のために無くてはならぬ大切生活のために無くている「言葉」は、私達が日々使っている「言葉」は、

うな行いがあったことと思います。

もし愛語

(あたたかい心のこもった

言葉) をもって手を取り合い、共存

は、

日本人が中国人に嫌われるよ

ています。しかし反日侮日の奥に

意を持つようになったことを憶え

た。

私たちは何くそと憤慨し、

11

. る、

と新聞などで報道されまし

声が強く神国日本を軽んじ侮っ

まりの頃に、

中国人は反日侮日の

世の事ですが、大東亜戦争の始いて、それ自体に霊は「言霊」といって、それ自体に霊力があり、人を動かすといいます。 一地よい言葉は喜びを作りますが、心地よい言葉は声びを作りますが、 ることもあります。特に上に立つることもあります。特に上に立つることもあります。特に上に立つることもありますが、 一種の上位の言葉は人心に響き、運動を変えることさえあります。

水子の個人供養を受け付けています。毎日9時、11時、14時、16時 からお勤めを致します。 痛いとげを

人の心に差し込んだりしてはいな

わたしたちはもっともっと

そのとげを見ながら思った

とげであった

いだろうか

夜中に目を覚ますほど

こんなに小さいとげでも

痛いのに

南無大師遍照金剛

虫メガネで見ねば

わからないほどの

刺さっていたのは

「とげ」

共 あったかもしれません。 栄 の の 関係もまた違ったもので 姿勢に努めていたならば、

つける刃になりうることをうたっ

た詩があります。 言葉は使い方により、 相手 を傷

> 特にそのことが思われた 教師であったわたしは 口走ったりはしなかったかと (坂村真民詩集 「詩国」 より)

とれないとげのような言葉を

うか。 仰がれる人になれるよう、 努力をいたしましょう。 身このままで生きている間に仏と 法大師の即身成仏のように、 らえることになりましょうか。 とできれば、 ことを言わず、 ても自慢したり、 うに心がけましょう。 して愛語により人を幸せにするよ 葉に、相手は傷ついていないでしょ 私たちが何気なく話し 振り返ってみましょう。 菩薩の中に入れ それを自身の 恩着せがまし 良い て 事をし 日 17 この 喜 て る 々 ŧ 弘 そ

秋の四国巡拝のお誘い

平成28年10月29日出

~ 11月1日火 (4泊5日)

〈今回の行程〉

71番~88番、高野山奥の院

1名様 51,000円程度

春秋2回実施、全4回で結願の四国巡拝です。 どの行程から参加して頂いても構いません。 一般ツアーでは少ない、宿坊での泊まりとなる 真面目なお遍路です。



家相・方位の相談をお受けいたします。新築・リフォーム・転宅の際は ご相談ください。

かけがえのない財産心に宝を上江下

平成二十八年 秋彼岸

宝形山 地蔵寺

井上覚善

した。 岸が近づくと嘘のように和らいできま 例年になく厳しかった暑さも、お彼

い出すことがあります。
お出すことがあります。
おい散るようになり、日々の掃き掃除の為に箒を使っていると、必ず思が欠かせなくなってきました。そして舞い散るようになり、日々の掃き掃除一安心したのか、たくさんの落ち葉が

それは、私の実家のお寺を一代で築

ってしまうこともあったりしました。れの祖母のことです。中でも特に、箒のれの祖母のことです。中でも特に、箒のかし子供の頃は、色々と厳しく教えてかし子供の頃は、色々と厳しく教えてされる祖母の存在を、時々、疎ました。しない方は厳しく教えてくれた明治生ま

ります。 かって、どれだけ役に立っているでし になってから現在に至るまで、 門に入り、 都度、とても嬉しく幸せな気持ちにな 自然に感謝の思いが湧き上がり、 ー。本当にありがたいことやなー。」と、 の時、イヤやったけど、厳しかったけ ょうか。掃除の度に、箒を持つ度に、「あ 手く使えることによって、どれだけ助 時は流れ、 ちゃんと教えてくれて良かったな 高野山での修行時代や住職 私も有難いご縁を頂き仏 箒を上 その

いるけれど、私の命の中で一緒に生きうずいぶん前に亡くなってしまってはさらに最近ふと思うのは、祖母はも

か

います。 覚を覚えることが多くなったように思様な感覚や常に観てくれている様な感てくれている様な感

頂いているのです。 秘ぎ、「教え」という何よりの財産をも が、本当はそういうものが無くても、 が、本当はそういうものが無くても、 が、本当はそういうものが無くても、 が、本当はそういうものが無くでも、

にして自分なりに精進をしてくことがその尊いかけがえのない財産を大切

ではないでしょうとが、『彼岸』(心が真に安らぐ世界)に真に安らぐ世界)に

合掌



お子様の撰名を致します。出来るかぎりご両親の希望に沿いながら、姓名学に則った良名を選ばせて頂いております。

奥の脱多道の

北森久雄 フォトライター

さんに同行した。 は写真担当として二十一名の信者の皆す」との連絡を受けて、八月一日に私おじぞうさまのよだれかけ着けをしまおじぞうさまのよだれかけ着けをしま

いるのか、気になっていた。とんなふうにしてよだれかけを着けてんを拝見するたびに、どんな人たちがれないほど行き来し、参道脇の地蔵されないほど行き来し、参道脇の地蔵さ

タオルで丁寧に拭き取り、真新しいよる地蔵さんの古いよだれかけを外してい、参道脇や少し奥まった所に祀られいがループに分かれた信者さんらート。

切ることができた。

・大学のようないが、地蔵さんもすが、気持ちよくカメラのシャッターを出蔵さんに出会えることができたし、私はこの日、新たに名もなく美しいがら安心しなさい」と優しく語りかけがあったのか、表情があるないにはないで「いつも見守っているがでがれ、気持ちよくカメラのシャッターをがあるないで「いっちりとした気分になったのか、表情がれかけを着けていく。地蔵さんもすがることができた。



さて当日、子安地蔵尊大法会の際に

心ひかれる仏教の話 図 山 厚 完 建 連続 開 座 〈講座日程〉

第3回 9月25日(日) 「春日大社の不思議〜かみとほとけの世界〜」 第4回 12月18日(日) 「お大師さまと奈良」

> 要事前申し込み。 どうぞお問い合わせください!

表紙「大師のお言葉」より私訳

失っていきます。 は、油を差してやらなくてはなりまには、油を差してやらなくてはなりまには、油を差してやらなくてはなりまには、油を差してやらなくてはなりま

美しさを保つように心がけましょう。

日々正しい仏法にふれて心を磨き、

毎月第二金曜日の午後7時より、「お経を習う会」を開いています。 どなたでもご自由にご参加ください。

本山布教師

鹿児島宗務支所 支所長

待ちしております。

昭和三十九年二月二十八日生まれ

《プロフィール》

当日も受付け致しますが、遠方のかた

は二十日までに送って下さい。

先祖供養の申し込み用紙を同封させて

先祖供養の申し込み

いただきました。

法話 九月二十一日水 九時半より「 十時半より

「聞く心、伝える心 ~感謝の心~」

昌り 彦ばん 僧正

小ニ^山 牟ゥ法城院 田ռ族院

護国山

写真

和合した瞬間でした。

丹生、 狩場明神感謝祭

十月十六日间 午前十時より

は神と仏、異なった教えが られて入定の地、 出会われました。 主でした。神が大師を導いた時、 である丹生都比売明神が、高野山の地 れたのです。実は狩場明神とその母神 お大師さまは、当山にて狩場明神と 白黒の犬を貸し与え 高野山へたどり着か それ

ましょう。皆さまの参拝お 合う教えを大事にして参り

> ちでない方は寺務所にてお求めくださ 白衣・念珠・輪袈裟持参のこと(お持

まどうぞご参加くださいませ。

大師会に続いて執行致します。

皆さ

方を比べる前に、手を取り

我々も、姿かたちや考え

御 十一月二十一日(月) 授 戒 会

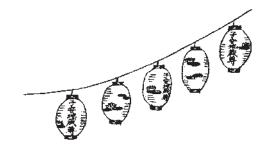
ものである」言われています。 なる。それはあたかも諸天の飲み物と にまとわりついた病が除かれるような いわれる甘露を飲むことによって、 とによって、人の体は潤いあるものに お大師さまは「み仏の戒めを守るこ

毎月三回不定期で「タイコの会」を開いています。お経を唱えながら タイコを叩いてみませんか?

午前九時半より

地蔵尊太法会盛太

去る7月24日



朝早くからたくさんの方にお参りいただき、 ありがとうございました 心より御礼申し上げます。





子どもを抱えてやさしく微笑む、 地蔵堂のお地蔵さま。





今年は小さい子は3・4歳の小さい子がたくさん出てくれました! 元気に歌えたね!

〈七五三まいり〉 11月中、七五三のご祈祷を行います。 お子様の健やかな成長を祈ってどうぞお参り下さい。